



# 朝霞あさかの日常を謳歌しよう

ちょっといい毎日、嬉しい発見、伝えたい何かを誰かと共有できると、もっともっと朝霞が好きになるかもしれません。市のホームページ「朝霞市の魅力」サイトで、これからのプロモーションの取り組みをチェックしてくださいね！



🔍 朝霞 シティプロモーション asaka.lg.jp



いつもの  
あさかで  
Asaka City



発行元／〒351-8501 埼玉県朝霞市本町1-1-1 ☎048-463-1111 (代表)

発行日／令和4(2022)年3月

編集／朝霞市市長公室シティ・プロモーション課

※掲載されている内容は、発行日時点のもです。変更される場合があります。

# 《 朝霞市ってこんなところ 》

朝霞市は、都心から20km圏内で、武蔵野台地の東、埼玉県の南部に位置します。

市域は、南北約6.3km、東西約4.6km、面積は18.34km<sup>2</sup>で、

市内には荒川、新河岸川、黒目川、越戸川の4つの河川が流れています。

交通は、市の南部を国道254号（川越街道）、東部の市境を外環道が通り、

高速道路へのアクセスがよく、また、都心と直結する東武東上線と

東京メトロ有楽町線・副都心線（東急東横線、みなとみらい線と相互乗り入れ）、

JR武蔵野線が走り、都市交通の重要な結節点となっています。

むさしのフロントあさか



## 朝霞市の基本 DATA

人口 143,585人

世帯数 68,326世帯

市章



「アサカ」の3文字を合体させて、飛鳥の姿に図案化したもので、市の和と団結を表し、将来の飛躍的な発展を象徴しています。

市の木 ケヤキ

市の花 ツツジ

※人口、世帯数とも令和4年1月1日現在

昭和42(1967)年3月15日に市制が施行され、埼玉県で27番目の市となりました。平成29(2017)年に市制施行50周年を記念し、ブランドタグライン「むさしのフロントあさか」、PR動画「OKAERI」、キャラクター「ぼぼたん」が誕生。令和3(2021)年には東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の射撃の会場市となりました。



## 「むさしのフロントあさか」に 込めた想い

朝霞市はこれまで、

「むさしのフロントあさか」をブランドタグラインとし、  
自然と利便性のバランスの良い暮らしやすいまちとして、

市内外にアピールしてきました。

ブランドタグラインとは、

将来に渡って変わることなく提供し続ける価値を意味しますが、

「むさしのフロントあさか」には、

この先も武蔵野の自然を守り育みながら、暮らしやすいまちとしての  
発展を続けていくことへの想いが込められています。

そんな朝霞のまちを舞台に家族の絆を描いた

市のプロモーション動画「OKAERI」は、

全国広報コンクールの埼玉県代表作品として評価されたほか、

ご覧いただいた多くの方の共感を集めてきました。

また、同時期に誕生した朝霞市のキャラクター「ぼぼたん」は、

市内外のさまざまなイベントに出演するだけでなく、

そっと寄り添いあたたかなメッセージを送ってくれるその優しさや、

ふわふわとした見た目の愛らしさからも、

今や幅広い年代の方々から愛される存在となっています。



## これからの朝霞らしさ

市では「むさしのフロントあさか」などのブランドイメージを、  
彩夏祭や黒目川花まつりなどの  
朝霞の四季を彩るイベントなどとともに、  
まちの魅力として、市制施行50周年や  
東京2020オリンピック・パラリンピックなどの機会に、  
積極的に伝えてきました。  
そして、大きな節目が過ぎた今、  
改めて**これからのシティ・プロモーション**を考える  
スタートラインに立つこととなりました。

市民の皆さんと開催したワークショップなどを通じて、  
改めて朝霞のまちの暮らしに目を向けてみると、  
これまで以上に**日常のさまざまな姿**が見えてきます。

黒目川沿いを  
ゆっくり歩く帰りに  
ホッとする

朝霞の森や  
シンボルロードを  
もっと楽しむ可能性に胸が弾む

まちのあちこちにある  
庭先販売で野菜を  
購入する楽しみがある

いつものあのお店の  
店主の笑顔を見ると  
元気が出る

学校の体育館から  
鳴子の練習が聞こえてくると  
夏を感じる

## 「最高の日常」

朝霞のまちには、“ハレ”と呼ばれる**お祭りや年中行事**があり、  
それらは楽しく誇らしいものですが、  
“ケ”と呼ばれる**日常そのもの**が、  
それぞれの人にとって豊かに感じられたり、  
暮らしの彩りとなっていたり、  
そんなちょっといい毎日がつづいていくことが、  
実は、暮らす人それぞれの「最高の日常」と言えるのではないかと。  
そんなことに気がつきました。

ハレの日のことは伝わりやすいので、  
“ケの日”つまり“日常”の価値をこそ、  
言葉にし、共有し、伝えていく必要があります。

**暮らす人それぞれに、最高の日常**がある。

これからは、「むさしのフロントあさか」を土台としながら、  
暮らす人の日常を言葉にして、  
たくさんの人に**朝霞の日常の価値**を知ってもらい、  
そんな取り組みを皆さんとともに進めていきたいと思えます。



# 最高の日常

何気なく過ごす朝霞での日常の中にも、必ず暮らすひとそれぞれにとっての価値があるはず。それぞれの「ちょっといい日常」がまちのあちこちにあること、ひとからひとへと広がっていくことが、もしかしたら、朝霞の「最高の日常」へとつながるのかも知れません。朝霞に暮らす皆さんに、それぞれの日常について聞いてみました。

interview  
1

## イラストレーター かとうとおるさん



Profile かとうとおる  
1977年生まれ  
イラストレーター兼主夫  
ツマと二人の娘とのほほん暮らし。



朝霞で暮らすかとうさんは、イラストレーター兼主夫として自宅で仕事をする傍ら、ブログやツイッターに日々の出来事を掲載されています。そこに描かれるかとうさんの4コマイラストや風景写真などから、朝霞の日常の姿を垣間見ることができます。



2021.7.31 (SAT)



かとうとおるさん  
(@katotoru)  
Twitter



ほんわかとした4コマイラストからは、かとうさんの視点を通じた朝霞ならではの日常の姿が。

2021.7.19 (MON)

## 【 朝霞での暮らし 】

もともとは近隣市のアパートに、ツマと二人で住んでいました。長女の出産のタイミングでマンションを探していた時、いろんな偶然が重なって、今の朝霞のマンションに引っ越すことになりました。

ボクは、主夫兼イラストレーターなので、日々の生活の中心は、「家事」と「イラストを描く事」です。朝起きて、家族の朝ご飯を用意して、家族を送り出して、洗濯して、イラスト描いて、お昼ごはんを食べてから、ちょっと昼寝して…夕方散歩しながら仕事のアイデア考えて、帰りにスーパーで買い物して、帰ってきたら晩ご飯作り…といった一日です。

子どもたちが小さかった頃は、仕事と子育てに忙殺されて、常に睡眠不足の日々でした。

が、もう子どもたちもいつのまにか中1と小5と大きくなり、子育てはひと段落。ずいぶんと楽になりました。

そんな日常の中で気に入っていることは、**こっそり、子どもの寝顔を見ること**。もう大きいはずなのに、寝顔はまるで小さかったあの頃のままだ。寝顔を見ている時は、とても平和で貴重な時間です。

## 【 お気に入りの朝霞 】

それは、なんといっても**黒目川**！黒目川はとっても豊かで、**春には桜のトンネル**が。夏には川遊びする子どもの声。秋には…なんだっけ？でもとてもいいよ。そして、冬が一番きれいかもしれない。シンと冷えた空気は、景色を一段ときれいに見せてくれる。ホットコーヒーをベンチで飲みながら、川の中のカモさんたちを眺めていると、とっても楽しいし平和な気分。飽きない！いくらでも見ていられます。

東武東上線の線路が、黒目川の上を走っていて、その姿と、ガタンゴトンって音を聞くのも楽しいです。

## 【 私の“最高の日常” 】

今の暮らしがじゅうぶん最高です。一緒にいてくれる家族がいて、近所に黒目川があれば、もうそれでじゅうぶん！**！刺激よりも、穏やかな生活が嬉しい**。自分が楽しいのも嬉しいけど、家族や子どもたちが楽しそうだと嬉しい。なんだかもう、おじいちゃんみたいですが、朝霞はそんな暮らしのできるまちだと思います。

interview  
2

エレファント  
ELEPHANT

## 只野友菜さん



Profile ただのゆうな  
1996年生まれ  
「彩むすび音 憩い処」という筆文字教室を行いながら、ELEPHANTメンバーとして活動中。

市内にある基地跡地エリアに新たな価値を感じて集まった、シンボルロードを中心に活動を行う若手のグループ「ELEPHANT」。2020年にシンボルロードがオープンして以来、朝霞の市民が憩えるような場づくりを、さまざまなアイデアでメンバーそれぞれが実現しています。メンバーのひとり、只野さんは、「あぞらえほん」を企画しアサカストリートテラスでの公演を行いました。

## 【 あぞらえほん 】

「あぞらえほん」では、絵本の絵が1枚1枚書かれた大きな布を束にして2人で肩に担いで行う布芝居の読み聞かせを行いました。アサカストリートテラスで**子どもと一緒に楽しめるコンテンツを作りたい**、という思いから提案しました。



広々としたシンボルロードの芝生上で、布芝居の読み聞かせを行った。

実際にやってみて、絵本よりも絵が大きいので多くの人と一緒に楽しめること、また、若者たちで読むことによって、普段から耳にしているお父さんお母さんとは違った声で聴けることなどが面白く感じました。生の公演でリアクションが直に伝わってきて、私も一緒に楽しめました。

中には『あぞらえほんをチェックしてきました！楽しみにしています！』と声を掛けてくださった方もいて、とても嬉しかったです。予想以上に多くの方に来ていただけて、本当に良かったなと思いました。

## 【 ELEPHANT 参加のきっかけ 】

当時、働き始めて職場と家を往復する日々を悶々と過ごしており、仕事以外でも何かしたいけど自分にはできることはあるのか、そもそも何をしたいのか分からないと感じていました。そんな中、ELEPHANTのを知り、**私でも何かできることがあるかもと参加**を決めました。

## 【 朝霞ならではの暮らし 】

**鳴子がある暮らし**は、朝霞ならではの！です。小学生の頃から鳴子チームに所属していますが、チームの間は年齢もさまざまです。長い間チームにしていると、「あの頃小さかったのに、もう高校生か〜。」などと、親戚以外で感じられる相手ができることも素敵だなと感じています。チームの間には鳴子という共通点があれば出会えなかったのが、朝霞に鳴子があって本当に良かったです。



鳴子のない暮らしは考えられない。

## 【 私の“最高の日常” 】

私は**毎日シンボルロードを散歩**するのですが、木々の下を歩いていると頭がリセットされ、リフレッシュできます。大好きな音楽を聴きながら歩くことが、お気に入りの過ごし方です。そのあと、シンボルロードのすぐ隣にあって朝から開いているコーヒー店で朝食を食べている時間は最高です。これからも、シンボルロードをより楽しんでもらえる場所にするため、ELEPHANTでも引き続き模索していきたいです。



シンボルロードのあちこちに、面白い発見がある。

interview  
3

アサカクラブ  
朝霞倶楽部  
平井 匠 さん



Profile ひらいたくみ  
2001年生まれ  
朝霞生まれ朝霞育ち。趣味はギ  
ターとVANSコレクション。

朝霞で生まれ育った大学生の平井さんは、朝霞を知ってもらうことをコンセプトに「朝霞倶楽部」を立ち上げました。主に、インスタグラムのアカウント「アサカクラブ」で、グルメを中心としたさまざまな朝霞の情報を発信されています。

### 【 朝霞倶楽部立ち上げのきっかけ 】

この活動のきっかけは、**中学の友人との散歩**です。コロナ禍で大学の授業もオンラインになり、時間もあつたので、近くに住む中学の友人と、夜、市内をよく散歩していました。その中で、「こんなお店あったんだ」、「このお店何のお店なんだろうね」と、たくさんの発見がありました。その流れで「インスタで朝霞のお店紹介やってみればいいじゃん」と、友人に背中を押され、そのままの勢いではじめました。

### 【 朝霞倶楽部の活動 】

現在、朝霞倶楽部は「朝霞市民のシビックプライド醸成」を掲げ、みなさんに朝霞を好きになってもらう活動をしています。その背景として、朝霞は交通の便が良すぎてみんな東京の方に行ってしまうんです。だから、「朝霞ってどんどこなの？」って聞かれたときに「朝霞は寝に帰るくらいよ、遊ぶときは池袋だし…」のように答える人が多い気がします。否定はしないのですが、生まれ育ったまちについて、一つくらい話せてほしいと僕は考えてます。だからこそ朝霞倶楽部は一人でも多くの市民に朝霞を好きになってもらえるようなきっかけづくりをしています。具体的な活動として、「アサカクラブ」の更新で、朝霞の人やお店などにフォーカスして投稿しています。「アサカクラブを見れば朝霞のネタには困らない」というようなメディアを目指しています。



この日はイタリア料理店で取材。企画、取材、編集、配信までを全てひとりでこなす。

実はデザインにもこだわっていて、特に10代の市民の人たちに「なんかイケてる」というようなテンションでアサカクラブを見てもらえるよう、毎回考えながらデザインしています。その甲斐あってか、最近は年下の大学生たちがメンバーに加わってくれました。また、市内に住む同い年の人たちとフリーペーパーも作成しており、熱量の高いメンバーと一つのものを作り上げることはとても刺激になっています。

朝霞倶楽部では、これからいろんな挑戦をしていきます。あたたかく見守っていただければ幸いです。



朝霞倶楽部 (@asaka\_club) 毎週金曜日に更新されるインスタグラムは、朝霞の魅力が満載。



### 【 私の“最高の日常” 】

僕の考える最高の日常は、恋人や家族、友人など、一緒にいる人と**“楽しい”“美味しい”などの感情を共有**することができる日常です。朝霞倶楽部が始まった経験からも言えるのですが、誰かと感情の共有をした時にワンランク上の“何か”が生まれる時があります。そして、それが自分の新しい喜びや生きがいになると思っています。



## MOMENTS IN DAILY LIFE いつもの朝霞

朝霞の日常のひとコマ



### \\ 最高の日常 //

皆さんと一緒に目指していきます！



シティ・セールス朝霞ブランド検討委員会委員  
(任期 2019年 10月～2021年 10月)

「シティ・セールス朝霞ブランド検討委員会」では、3年度に渡って、朝霞市の新たなシティ・プロモーションの方向性を検討してきました。専門的な知見に基づいてデータを分析したり、会議では熱い意見を交わしたり、さらには市民の皆さんとワークショップに参加して日々の実感に基づいた話し合いを重ねたりしながら、たどり着いたのが「日常の価値」。朝霞らしい暮らしの中にこそ価値がある、そんな想いでまとめた提言をもとに、朝霞に暮らす皆さんがそれぞれの「最高の日常」を謳歌されることを願っています。

## シティ・セールス 朝霞ブランド

「朝霞の魅力」  
「朝霞らしさ」を  
広く市の内外に発信する  
「シティ・セールス」の  
一環として認定された  
7つの地域資源です



### 1 黒目川

市内をほぼ東西に流れ、周辺の田園風景などとともに、春の桜並木をはじめとした四季折々の景観が、訪れる人たちを楽しませるスポットとして親しまれています。



### 2 公園通り

シンボルロードの愛称で親しまれるケヤキ並木のある閑静な通りです。広々とした歩道やサイクリングロードが整備され、市民憩いの空間が広がっています。

### 4 旧高橋家住宅

江戸中期、18世紀前半の建築と推定された農家建築です。この地域の一般的な武蔵野農家の景観を今に伝えるものとして、敷地も併せて重要文化財に指定されています。



### 5 ニンジン

朝霞でのニンジンの栽培は大正時代から始まり、現在では県内有数の出荷量を誇る産品となっています。ニンジン素材とした菓子や食品、料理なども生まれています。



### 7 本田美奈子・モニュメント

幼い頃から住んでいた朝霞のまちをこよなく愛していた本田美奈子さんの、幅広い音楽活動やその人柄で多くの方々へ愛された功績をたたえ、建てられたものです。

### 6 アートマルシェ

東武東上線朝霞駅南口および東口駅前広場を会場とした、街なかで身近に音楽や芸術に触れることのできる、朝霞市の秋を代表するイベントです。



### 3 彩夏祭

「朝霞市民まつり」として、市民自らが育んできた約40年の歴史があり、70万人以上の方が訪れます。本州で初めて開催された、よさこい鳴子踊りの祭典「関八州よさこいフェスタ」や、市街地で打ち上げられる花火は圧巻です！



新しい「魅力のタネ」を  
一緒に探していこうね♪



asaka.lg.jp  
朝霞ブランド  
詳しくはこちら！